

INTERIM BUSINESS REPORT

第94期 中間報告書

2023.1.1 ▶ 2023.6.30

市光工業株式会社



株主の皆さまへ

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけの見直しで、サービス消費が緩やかに拡大するなど個人消費が持ち直したほか、堅調な設備投資やインバウンド需要から景気は緩やかに回復しました。一方で、円安や資源価格の高騰などによるインフレや、世界的な金融引締め政策等が続く中で、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクも懸念される状況となりました。



米国は、個人消費は堅調に推移していることに加え、インフレ率も低下してきており、景気は緩やかな持ち直しが続きました。中国は、ゼロコロナ政策の解除を受け、春先にかけて急速に経済が回復しましたが、個人消費の停滞と不動産市場の悪化、輸出の伸び悩みで、経済再開後の回復は息切れが見られる状況となりました。アセアンでは、インドネシアは消費マインドの改善も続いて好調な消費が景気回復をけん引しました。マレーシアは消費やインバウンド需要がけん引した景気回復が続く一方で、外需の低迷により輸出は低調に推移しました。タイは世界的な需要の低迷を背景に輸出が減少しており、景気回復ペースは緩やかにとどまりました。

このような環境のもと、当社グループは、当第2四半期連結累計期間においては、主力の日本国内ならびにアセアンにおいて、半導体の供給制約がほぼ解消し、工場稼働日を減らしていた自動車の生産・販売の回復と共に売上高が増加し、さらに原材料高騰の価格転嫁の影響もあり、売上高は自動車市場の成長率を上回る水準を確保しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間では、売上高は75,770百万円(前年同期比20.4%増)となり、増収による影響や、原材料費等の価格高騰分の転嫁が進展した影響などから、営業利益は3,777百万円(前年同期比236.9%増)、経常利益は3,783百万円(前年同期比134.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,521百万円(前年同期比99.1%増)と増収増益となりました。

尚、中間配当につきましては、株主の皆さまへの利益還元の上をを図る観点から、2022年6月期の4.5円から1円増配し、5.5円とさせていただきます。

また、2023年12月期通期の業績予想につきましては、売上高は143,500百万円、営業利益は6,400百万円、経常利益は7,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5,300百万円と増収増益を予想しております。

2023年12月期の配当に関しましては、増収増益の見通しなどを総合的に勘案し、2022年12月期の9円から2円増配の年間配当11円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 Christophe Vilatte (ヴィラット クリストフ)

ICHIKOHは創立120周年、そして Valeoは創立100周年を迎えました



1903年（明治36年）6月に白光舎として白光蠟油および信号灯の専門工場として創業したICHIKOHの歩みは、本年で120年の時を刻みました。当時の高輝度オイルランプは鉄道用のカンテラとして鉄道の安全運行に寄与しました。そして1916年には、後に出会い、合併の相手となる市川製作所が東京の京橋で産声を上げ、自動車の尾灯や安全標識機の製造を始めました。

白光舎は、その後蒸気機関車の前照灯の製造や、信号灯の蓄電池化を経て、自動車用前照灯の国産化に成功し、1932年製のダットサン1号車のヘッドランプに採用されました。市川製作所は、自動車用部品の開発製造に進み、ヘッドランプ、テールランプ、ミラー類、ラジエーターグリル、ホイールキャップ等の製品群を取り揃えました。

両社は1968年に合併し、自動車産業の発展に伴い、開発・生産の革新を続け、市光工業株式会社として日本有数の自動車部品メーカーに成長しました。先端テクノロジーを用いた新製品開発を得意とし、プロジェクターヘッドランプ等日本初、世界初の製品を数多く送り出してきました。

120周年の現在では、自動運転をサポートするADB（自動制御ライティングシステム）やMonoLED（オールインワン標準型LEDユニット）など革新的な製品を開発し、進化を続ける自動車メーカーに供給し、安全で快適な交通環境の創出に取り組んでいます。その企業姿勢が注目され、テレビ東京の番組「知られざるガリバー ～エクセレントカンパニーファイル～」にICHIKOHが取り上げられ6月17日に放映されました。

親会社のValeoも本年5月に創立100周年を迎え、共々に祝い、共々に更なるステージへの出発をしました。これからもエクセレント・テックカンパニーとして成長して参ります。



高輝度オイルランプ



シールドビーム（1965年）



MonoLED

(要約) 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2023年6月30日現在	前連結会計年度末 2022年12月31日現在
資産の部		
流動資産	60,432	63,280
固定資産	64,701	62,634
有形固定資産	42,906	41,656
無形固定資産	825	859
投資その他の資産	20,969	20,118
資産合計	125,133	125,915
負債の部		
流動負債	54,454	58,485
固定負債	12,300	12,421
負債合計	66,755	70,907
純資産の部		
株主資本	58,206	56,096
その他の包括利益累計額	△560	△1,762
非支配株主持分	732	673
純資産合計	58,378	55,007
負債及び純資産合計	125,133	125,915

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2023年1月1日から 2023年6月30日まで	前第2四半期累計 2022年1月1日から 2022年6月30日まで
売上高	75,770	62,935
売上原価	61,192	52,221
売上総利益	14,578	10,713
販売費及び一般管理費	10,800	9,592
営業利益	3,777	1,121
営業外収益	359	882
営業外費用	353	390
経常利益	3,783	1,613
特別利益	5	—
特別損失	478	179
税金等調整前四半期純利益	3,310	1,434
法人税等	756	125
四半期純利益	2,553	1,309
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,521	1,266

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2023年1月1日から 2023年6月30日まで	前第2四半期累計 2022年1月1日から 2022年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,766	2,529
投資活動によるキャッシュ・フロー	54	184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,145	△2,876
現金及び現金同等物に係る換算差額	411	286
現金及び現金同等物の増減額	1,087	123
現金及び現金同等物の期首残高	8,631	5,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,718	5,844

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2023年6月30日現在)

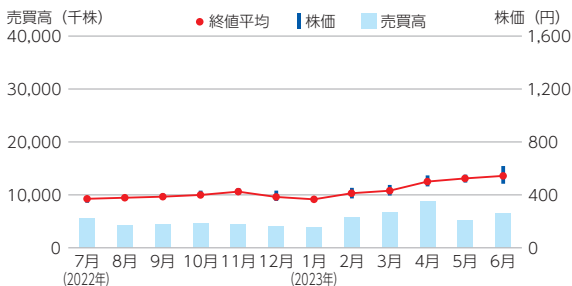
発行済株式の総数	96,334,226株
発行可能株式総数	200,000,000株
株 主 数	7,522名

大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
ヴァレオ・バイエン	58,791 千株	61.14 %
INVERISIS/IICS JAPAN	4,683	4.87
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,354	4.52
(株)日本カストディ銀行(信託口)	3,512	3.65
MSCO CUSTOMER SECURITIES	1,159	1.20
日本生命保険相互会社	988	1.02
BNP PARIBAS LUXEMBOURG / 2S / JASDEC / FIM / LUXEMBOURG FUNDS / UCITS ASSETS	830	0.86
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	730	0.75
MSIP CLIENT SECURITIES	692	0.72
JP MORGAN CHASE BANK 385781	651	0.67

- (注) 1. 持株比率は自己株式(180,073株)を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
 3. 株式会社日本カストディ銀行の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、3,512千株であります。

株価および株式売買高の推移



取締役および監査役 (2023年6月30日現在)

代表取締役会長	オードバディ アリ
代表取締役社長	ヴィラット クリストフ
代表取締役副社長	宮下和之
取締役	白土秀樹
取締役	マルテネッリ マウリッツオ
取締役	ペレス ラウール
社外取締役	青松英男
社外取締役	ラヴィンニュ ジャンジャック
常勤監査役	加藤伸曜
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スベストル ピエール

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金配当支払株主確定日	毎年12月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年6月30日
基準日	毎年12月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

会社概要 (2023年6月30日現在)

商号	市光工業株式会社
設立	1939 (昭和14) 年12月20日
資本金	8,986,364,953円
従業員数	連結 3,508名 (1,468名) 単体 1,527名 (736名)

(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は () 内に期間中の平均人員を外数で記載しています。

本店	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地 TEL 0463(96)1451 FAX 0463(96)2080
----	---

ホームページのご案内 会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。
<http://www.ichikoh.com/>

ICHIKOH

a Valeo company

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

